

庶民の会

会派代表者 種村繁徳
所属議員 本多松弘
所属議員 林田 勉



質問者
たねむら しげのり
種村繁徳

新型コロナウイルス感染症について

・予防対策

Q 感染者発生に備え、本市はどのような対策を考えているのか？

A 県南保健所や医師会、感染症指定医療機関、三市、消防などで構成する県南地域感染症対策協議会が開催され、医療体制の整備や感染者が出た場合の対応などを協議している。本市でも対策本部会議を重ね、医師会長よりアドバイスをもらっている。県でも発生時に受け入れる宿泊施設等を募集されており、県と調整して万全の対策を取りたい。

Q 医師会と本市対策本部との関係は？

A 市対策本部に医師会関係者は所属していないが福祉保健部が窓口となり聞き取りができる関係にある。医療機関のマスク不足の声を受けて本市備蓄品や関係企業団体から提供されたマスク・フェイスシールドを配布した。医師会としても正確な情

報を伝えることが風評被害につながらないとされており、市民が混乱しないよう医師会と連携していきたい。

Q 避難所における新型コロナウイルスの対策は？

A 3密を回避するため通常より広い避難所が必要になる。可能な限り多くの避難所を確保し、集団感染のリスク回避するため、手洗い消毒や換気対策を徹底し、段ボール製の間仕切りやベッドを活用し、感染防止に努める。

・経済の建て直し

Q 国の持続化給付金の申請が難しく、簡素化できないのか？

A 申請サポート会場を島原商工会議所内に設置し、市も一緒になって事業者の説明を重ねていきたい。

Q 経済の建て直しは長期的な対応が必要だと考えるが？

A 観光産業は裾野が広いので、早く復活させなければならず、本市でも事業継続支援金や旅行券も発行する。国の第2次補正予算の中身が見えてくると支援の仕方も出てくる。単独では限界があり、国・県の支援で地域経済を活気づけたい。

Q 部署の垣根を越えた若手職員プロジェクトチームについて、希望者を募ってみてはどうか？

A 若い職員は、いろんなアイデアを持っている。部署を超えてやることでコロナ対策につながるるので、垣根を超えた行動を指導したい。

バラの会

会派代表者 松坂昌應
所属議員 本田みえ
所属議員 楠 晋典



質問者
まつさか まさお
松坂昌應

コロナ影響で中止した事業予算をコロナ対策に

Q コロナの影響で中止した事業予算をコロナ対策に回せないか。

A まずは4月末の専決、5月臨時会で承認いただいた新型コロナ関連予算54億5900万円と、国の追加二次補正を基本に対応したい。

新庁舎の活用と全面完成までの移行期間の扱い

Q 新庁舎の特長は？

A 防災拠点機能・市民に開かれた庁舎（駐車場80台分（移行期間中は20台分）、うち車椅子用2台分を計画）・ワンストップ窓口・多目的トイレ・市民憩いの広場の要素（会議室の公民館のような活用）などが売り。

Q 移行期間中の駐車場に車椅子用スペースはないのか。

A 障害者・高齢者優先の駐車場ということで広報している。

Q 身障者優先表示もなく伝わらない。出入りに一番便利な場所一台分に喫煙所はいかがなものか。

A 暫定的な取り扱いであるが、暫定期間中であつても分かりやすい表示を検討したい。喫煙所は条件を満たしている。

Q 煙が漏れて、受動喫煙が防げない現状はダメだ。駐車場は霊丘公民館方式で一般利用を認め、料金を取ることも考えて欲しい。

A 現状は暫定。完成までに総合的に考えたい。

イオン周辺整備は

Q 迂回道路整備進捗状況は。

A 2年後イオンの再オープンに向けて、予定通り進捗している。

Q 周辺買い物難民対策に、めぐりんバスの活用（バス増設）を。

A セット料金でなく、区間利用が可能なら相談したい。